

意識を喚起し



進んで行動を

私達の使命は…

…私達のクラブ

…地域社会

そしてあまねく広く世界において

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——吉田昭平
会長——斎藤弘文
会長エレクト——五十嵐昭一
副会長——松谷昊吉
幹事——丸山行彦
副幹事——清水良一
S A A——荻根沢隆雄
副 S A A——中村和彦

例会日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	71名中 59名
先々週出席率	88.41%

先週のメイクアップ

2/1 三条ローターアクトへ
丸山行彦さん、佐久間勝敏さん、
小出子恵出さん、高森章仁さん
2/5 三条南へ
長谷川有美さん、斎藤 隆さん



会長挨拶

斎藤弘文会長

ご挨拶させていただきます。
中條さんようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。
三日の日に本成寺の節分行事と鬼踊を見に行っ



てまいりました。私は工業会の立場もありますので、12時からひらかれます産業振興祈願祭にも出席させていただきました。その後1時からの節分行事、終わりますと、たいへん美味しいお齋をいただいて帰るわけ

でございますけれども、お齋の席上で奉会員や内山元市長さんに献身的なお酌をしていただきました。捧さんからお酌していただくのは、この時くらいかなと、気分良くすごさせていただきました。

今年はどういうわけか参議院の選挙も近く、へたをすると衆議院の選挙も近いということで選挙の関係者も多数、おいでになりました。大変御利益のあるお寺ではないかと考えたわけでありませう。ぜひ仏たのみをする時は、本成寺にいかれたら良いと思います。

今国会でも新聞紙上、テレビでもKSDの問題が大変大きな問題として取り上げられています。

中小企業経営者福祉事業団という財団法人があるわけですが、その小関理事長が政治工作にお金を使ったという問題です。

我々三条にもこの事業団に加盟している会員が多数おられまして、大変こまっておられるのが現状ではないかとそんな気がしております。私の知り合いにもたまたま数年前でしょうか、小関理事長自ら東京で手渡しで表彰状を渡され誇らしげに応接間にかかっていた会社がございました。

安全衛生のしっかりした管理の会社の表彰だったと思いますが、この間うかがいましたら、もののみごとに無くなっており、どうしたのかと聞きますと、とてもはずかしくてこんな額は掛けておけないと言っておられました。確か中央銀行が一生懸命、その世話役をやりまして会員を募集しておりましたので、おそらく県央地区にも多数の会員の方がおられるのではないかと思います。ほんとうに中小企業は大事だと言っており、そして製造業、物造りを無くした国はないんだときれいな事を言って物造り大学は大切だと言って、私も大変興味をもってぜひものづくりには力を入れなければならないと思ったやさきに、その出鼻を挫かれてしまいました。政治家というものにあらためて憤り、情けなさを感じています。もともと私はよく人の為とか社会の為とかいろいろなことを多く語れば語る程、その人は嘘じゃないかと信じてなかったわけでございます。人の為と書きまして読み方偽という字になるわけでございます。そんな事を考えますと政治家とは一番人の為とか社会の為とかという言葉を使っているように思います。ぜひ自分の為に頑張るんだという政治家を生みだしてもらいたいと思います。

幹事報告

◎中条RCより

創立40周年記念式典のご案内がとどいております。

とき 6月24日(日) PM1:00~
ところ 中条町産業文化会館大ホール
登録料 1名 10,000円

◎長岡RCより

創立50周年記念式典のご案内がとどいております。

とき 4月7日(土) PM4:00~
ところ 長岡グランドホテル
登録料 1名 15,000円

ニコニコBOX



齋藤弘文さん

昨日NHKテレビのニュースに私のまぶしい顔が映し出されたそうです。

丸山行彦さん

小越さん、卓話ご苦労様です。

藤田説量さん

会場入口の看板が新しくなりましたことに感謝して。

小柳直人さん

当ロータリークラブより注文頂いたものですから、例会場入口看板を新しくしました。

細井増雄さん

先週の例会で齋藤会長から金物屋の宣伝をしていただいたので。

菊池 渉さん

本日の卓話、小越さんご苦労さまです。楽しみにしています。

捧 賢一さん

いろいろうれしいことがありまして。

樺山 仁さん

小越会員の卓話をたのしみに。

藤田紘一さん

いよいよ又、確定申告の時期となりました。会員の皆様お早目に!!

荻根沢隆雄さん

小越様、卓話ご苦労様です。楽しみにしております。

川又嘉瑞範さん

孫より誕生日の祝をいただきました。だんだんカンレキに近づいてきました。

2月7日分 ￥12,000
今年度累計 ￥742,600

卓話

「国際奉仕月間にあたり」

小越憲泰会員



当三条クラブの国際奉仕委員会は三つの目的を持った委員会に分かれております。青少年交換並びにGS E、ロータリー財団、米山奨学の三つの委員会です。今日は時間の都合ではな

く、私の都合で青少年交換について説明させていただきます。

青少年交換がRIの公式プログラムとして始まったのは1972年で今から29年前の事で長い歴史があり、現在非常に盛んに行なわれております。だいたい60ヶ国位の国がこのプロジェクトに参加しており、約9,000人の青少年が現在どこかの異国で体験をし、交流を深めている現状です。

青少年交換は青少年に異国の経験をして頂く事によって、その国の理解を深めてもらい、又、日本に来て貰い日本の国情を研鑽してもらうと言う意図があります。それを持ち帰って時代を担う青少年の人達の国際理解に役立つと言う事が基本になっていると考えられます。

交換学生には夏期(短期)と1年交換の二つがあります。今年度から2560地区は群馬県と新潟県が別々になった訳ですが、この交換学生のプロジェクトは今年度も従来通り二つの県で行われます。

夏期交換学生の定員枠は群馬県が9名、新潟県が9名で合計18名を派遣しております。又派遣したからにはその地区に交換学生を受け入れなければなりません。最近の傾向として夏期交換も一年交換も群馬県の方が大変積極的で熱心であります。昨年の例ですが群馬県と新潟県でそれぞれ9名づつの処が、群馬県が12名・新潟県が6名という構成になっております。この様な実態から交換学生のプロジェクトを新潟県単独で消化出来ないの、従来通りになってしまったのかと思っております。

夏期交換学生の募集要項

A、交換先 ドイツ(第1800~1900地区)

B、募集要項

1、資格

- 派遣時、高校又は大学在学中の男女(含む、予備校生・専門学校生)
- 中学3年程度の英語をマスターし、英検3級程度が望ましい。
- 心身共に健康・健全であること。
- ロータリアンの子弟(孫も含む)と当該クラブが指導するインターアクトクラブ会員である事。
- 1クラブ1名の推薦とし、地区内優先順位より群馬県・新潟県それぞれ9位迄。

群馬県側	新潟県側
1、館林ミレニウム	1、柏崎
2、高崎セントラル	2、長岡西
3、高崎	3、長岡
4、新潟南	4、太田西
5、前橋	5、燕
6、前橋中央	6、新津中央
7、太田	7、新潟中央
8、富岡中央	8、五泉
9、館林	9、三条北

C、派遣・受け入れ期間について

派遣学生は7月末か8月初旬に出発し約3週間ドイツのホストファミリー宅に滞在する予定です。

受け入れは7月初旬から約3週間ホームステイする予定になっております。

D、派遣学生が負担する費用について

渡航に関する費用(目的地までの往復航空運賃、傷害保険加入料金、渡航手続き費用等)

ロータリーが主催するオリエンテーションの参加費交通費。

以上が夏期交換の概略です。様は毎年ドイツの学生が先に日本に来日して約3週間滞在し、ドイツの学生が帰国する時に日本の学生と一緒に向こうに3週間滞在して帰国するという形態をとっております。

なぜ今年もドイツへの派遣かという「アジアよりも欧米圏の方へ行って勉強したい」という学生の希望が強いからで、それを覆す事は今まで無かったと言う事です。

私、個人的には夏期交換はアジアの方でも良いのではないかと考えております。1年間留学して勉強する訳ではないのだから、その地域の親善・親睦大使として交流を行う訳ですから、どうしても欧米でなくても良いのではないかと考えるのです。派遣学生の地区内の順位についても見直しが必要かと考えています。毎年どのクラブにも派遣出来るチャンスを与えた方が各クラブの交換プログラムに対する興味が違って来ると考えられます。現に当三条クラブは9位迄の優先順位に入っていない為、今年度は関係ないという意識が働いてしまい交換プログラムのことを殆ど考えない年度になっております。又、夏期交換学生については原則的に選考は無いのです。それは今まで人数が9名以内だったと言うことです。

一年交換学生の募集要項

A、派遣先

アメリカ・カナダ・フランス・ドイツ・ブラジル・タイ

B、資格

- 応募・出発時共に高校在学中で18歳以下の男女。
- 学業成績が中位以上の者。
- 心身共に健康で、1年の外国生活に適応出来る者。
- 来日1年交換学生の受け入れ家庭となる事。
- ロータリアンの子弟とは限らない。

C、選考

11月中旬選考試験
面接・英語・作文・社会(歴史)等の予定。

D、交換学生派遣・受け入れ時期

1年交換学生を派遣したクラブは来日学生の受け入れを義務付けられている。

出発予定～3月下旬or8月下旬

受け入れ予定～8月下旬

又、受け入れにあたり、男女の希望は認められない。

E、派遣学生が負担する費用について

渡航に関する費用（目的地までの往復航空運賃・傷害保険加入料・渡航手続き費用等）

ロータリーが主催するオリエンテーションの参加費交通費。

F、募集人員

4～5名を予定。

以上が1年交換学生の概略です。

交換に関する経費ですが、会員年間3,500円ずつ徴収されており、その金額で1年交換と夏期交換が賄われております。1年交換について2560地区から一人約100万円拠出されております。

その100万円の内訳については、授業料・学費に関するものが30～40万円、毎月例会に出席してもらい、こちらにきている学生に15,000円の小遣いを渡しております。

又、35,000円を学生の世話をして下さっているホストファミリーに食事代等として支払っております。

1年交換学生は吉田年度ではアメリカ・カナダ・ドイツの三ヶ国で、群馬県が5名・新潟県が2名の派遣です。新潟県の2名については新潟東と三条北の2クラブより派遣されました。この1年交換学生の派遣について矛盾点があります。それは彼らが帰国したのち高校に復学する条件が学校によって違うのです。私の友人の娘さんが北ロータリーから1年交換学生としてカナダに行き来て、

東高校に復学したのですが、結局在学中の学年に留年と言う事になりました。この事は大変重大な問題ですので、派遣するからにはロータリーとして学校側と事前に話を取り交わしておかなければならないのではないかと思います。

私事を少し話をさせていただきます。私には3人の子供がおります。長男は今年28歳で、長岡高専を卒業後半年間英会話の専門学校に通った後、フロリダの大学へ入学致しました。英会話は高専在学中もだいぶやっていたようです。然し一年間は専門語がポンポン飛び交う授業には全くついていけなかったそうです。周りを見渡しても殆ど言葉を交わせる日本人は居なかったそうです。級友といってもアメリカ人やブラジル人・メキシコ人・韓国人ばかりだったそうです。まあ何とか2年目から少しは授業についていけて、4年で卒業出来、現在、東京で就職しております。長女も大学の時、1ヶ月だけアメリカにホームステイを経験しております。次女は現在音楽関係の大学の4年生です。専門が声楽ですので毎年授業の一貫として1ヶ月間イタリアに行っておりました。レッスンは全てイタリア語ですので本当に苦労したそうです。オペラのレッスンに行ったつもりが、イタリア語の勉強に行ったようだったと言っております。3人の子供達の経験から言わせれば夏期交換は別として、1年交換を派遣するのならその学生の為にも、派遣先の日常会話が出来ることを最低の条件にした方が良く思うと言っております。そうでないと派遣先の学校の授業にはとてもついていけなくて本人が一番悔しい思いをするはずで

以上が交換学生に関する雑駁な説明でしたが、私は青少年に海外経験を積ませる事は私達大人として大切な責務だと思っております。

例会案内

三条RC	2月21日例会	卓話	鈴木宗資会員
	2月28日例会	卓話	高橋 司会員

メイクアップをどうぞ

三条南RC	2月19日例会	外部卓話	ガバナー	吉田昭平様
	2月26日例会	会員卓話		
三条北RC	2月20日例会	夜例会	於	三条ロイヤルホテル
	2月27日例会	会員卓話		
加茂RC	2月22日例会	移動例会	於	「ホテル大橋」
	3月1日例会	クラブ・フォーラム		
燕RC	2月22日例会	夜例会		
	3月1日例会	クラブ・フォーラム		
見附RC	2月22日例会	会員卓話		
	3月1日例会	会員卓話		